

SPEAKERS:

スティーブ・ボーン、オルテック アジア太平洋地区 副社長



ノッティンガム大学で動物栄養学の学位を取得(1985)。1996年、同大学で「栄養学における酵素の役割」の研究で哲学修士号を取得。栄養学者として6年、クランスウィック・ミル社にて飼料配合、研究開発やテクニカル・サポート、その後もアジア、ヨーロッパで養豚会社への栄養コンサルタントとして活躍。

1990年6月、オルテックに入社、タイを拠点にアジア太平洋地区でのビジネス拡大に貢献、1994年、イギリスに戻り現在に至るまでオルテックの副社長としてアジア太平洋地区を統括する。

セルジュ・コーネイリ博士、オルテック・ジャパン合同会社 代表取締役社長



ベルギー・ルーベントリック大学にて、魚の内分泌学に関しての学士号と理学修士号、生態および栄養学博士号を取得。魚の養殖において、ヨーロッパおよびアジアにおいて25年以上の経験を持つ。2009年よりオルテック・ジャパン代表に就任。また、オルテックの水産部門においてアジア地区の営業コーディネーターも兼務している。

アリソン・リアリー博士、オルテック キー・アカウント・テクニカル・サービス・マネージャー



豪ニューイングランド大学で家禽栄養学の学位および博士号を取得。2004年MBAを取得。動物飼料業界で9年の経験を持ち、故国オーストラリアおよびここ5年はアジアでも活躍している。オルテックの東南アジアにおける家禽分野のテクニカル・サービス責任者。

アンドレアス・コッカー博士、オルテック 技術マネージャー及び規制関連業務担当



スイス国立工科大学にて農業工学学位取得後、栄養士として大手飼料製造会社勤務。2000年、オーストラリア・ニューイングランド大学にて博士号取得。2004年オルテック入社、アイルランド勤務を経て2006年よりオーストラリア勤務。飼料栄養補助物及び単胃栄養学において18年の経験を持つ。

クリス・キング博士、オルテック 南アジア統括責任者 兼 アジア太平洋反芻動物マネージャー



シドニー大学にて農学学士取得。オーストラリア、アメリカ、ブラジルなどを拠点に、アジアから中南米にわたり技術開発の、営業、製品・管理マネージャーを歴任。その後オーストラリアにて飼料および栄養製品群を扱う複合企業の立ち上げで重要な役割を果たし、豪国内および北米までビジネスを展開させる。オルテック入社後はインドに移住し、オルテックのインド、バングラディッシュ、スリランカ、パキスタン各支社の立ち上げを援助。現在はバンコクに駐在し太平洋内の南アジア地域における反芻動物の開発を指導している。